

平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年11月13日

上場会社名 ジャパンシステム株式会社 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 9758 URL <http://www.japan-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ケリー ジュールス パーセル
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員副社長 (氏名) 村中 達郎 TEL (03) 5309-0300

(注) 平成19年12月期は決算期の変更により、平成19年4月1日から平成19年12月31日までの9ヶ月決算としたため、第3四半期決算を行っておりません。これにより、前年第3四半期の連結業績および対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第3四半期の連結業績 (平成20年1月1日 ~ 平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	6,542	—	△1,112	—	△1,098	—	△1,881	—
19年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年12月期	6,718	—	205	—	222	—	△361	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第3四半期	△72	24	—	—
19年12月期第3四半期	—	—	—	—
19年12月期	△13	88	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年12月期第3四半期	5,502		1,886		34.3		72	43
19年12月期第3四半期	—		—		—		—	—
19年12月期	6,535		3,871		59.2		148	66

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年12月期第3四半期	61		△180		△91		559	
19年12月期第3四半期	—		—		—		—	
19年12月期	41		△739		△116		771	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		中間期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
19年12月期	—	—	—	—	—	—	3	50	3	50
20年12月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—	0	00

3. 平成20年12月期の連結業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

平成20年12月期の業績予想につきましては、前回公表(平成20年10月7日付)いたしました通期の業績予想から変更ありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成20年1月1日から平成20年9月30日）におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の不安定化や原油および原材料価格の高騰等、不安定な世界市場の影響を強く受け、企業部門での設備投資計画の伸びが鈍化するなど景気減速が強まっております。

情報サービス産業におきましても、厳しい経済状況のなか、各企業の情報化に関する投資は抑制傾向であり経費も削減傾向にあります。特にソフトウェア開発によるソリューションビジネス分野では、大型プロジェクト数が減少傾向にあり、加えて価格低減圧力もあって、非常に厳しい舵取りを求められております。

このような状況のもと、当社および連結子会社の当第3四半期の売上高は、中間連結会計期間の減少要因に加え、営業部門の一部を廃止した結果、6,542百万円となりました。営業損失は、中間連結会計期間における不採算プロジェクトおよび一部の取引先の信用懸念の影響で1,112百万円、経常損失は1,098百万円、四半期純損失は、中間連結会計期間における特別利益および特別損失ならびに法人税等調整額の影響で1,881百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,032百万円減少し5,502百万円となりました。流動資産は、長期性預金からの振替による現金及び預金の増加等により428百万円増加し4,555百万円となりました。また、固定資産は、長期性預金の現金及び預金への振替による減少および繰延税金資産が減少したこと等により、1,461百万円減少し947百万円となりました。

負債は、3,616百万円となり前連結会計年度末に比べ952百万円の増加となりました。この主な要因は、リース解約損失引当金の発生および開発中案件に係る前受金の増加等によるものであります。

純資産は、四半期純損失が発生したこと等により前連結会計年度末に比べ1,985百万円減少し1,886百万円となり、自己資本比率は34.3%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失1,501百万円に加え退職給付引当金の減少や未収入金が増加した一方で、貸倒引当金およびリース解約損失引当金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ211百万円の減少となりました。その結果、当第3四半期の資金残高は559百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は61百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失1,501百万円に加え、退職給付引当金の減少836百万円、未収入金の増加155百万円等の減少要因が発生した一方で、前受金の増加660百万円、貸倒引当金の増加629百万円、リース解約損失引当金の増加478百万円、受注損失引当金の増加248百万円、減損損失255百万円、長期未払金の増加229百万円等の増加要因があったことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は△180百万円となりました。これは主に賃貸不動産の売却による収入9百万円を上回る、有形固定資産の取得による支出97百万円、無形固定資産の取得による支出90百万円等があったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は△91百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払額91百万円等によるものであります。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法を用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	1,559,981		771,269	
2. 売掛金	916,794		1,005,458	
3. たな卸資産	1,143,403		1,098,393	
4. 未収還付法人税等	—		19,375	
5. 未収入金	611,778		456,296	
6. 繰延税金資産	206,288		212,835	
7. 短期貸付金	500,100		500,000	
8. その他	249,593		65,986	
貸倒引当金	△632,586		△3,136	
流動資産合計	4,555,353	82.8	4,126,478	63.1
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 賃貸資産	90,151		46,465	
(2) 建物	75,815		86,886	
(3) 工具器具及び備品	62,108		214,267	
(4) 土地	25,229		25,229	
有形固定資産合計	253,304	4.6	372,848	5.7
2. 無形固定資産				
(1) 賃貸ソフトウェア	95,257		70,611	
(2) ソフトウェア	81,557		90,339	
(3) ソフトウェア仮勘定	40,137		11,775	
(4) その他	9,348		9,348	
無形固定資産合計	226,300	4.1	182,074	2.8
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	171,232		187,181	
(2) 保証金	295,210		294,415	
(3) 賃貸不動産	—		10,765	
(4) 長期性預金	—		1,000,000	
(5) 破産更生債権等	10,859		12,472	
(6) 繰延税金資産	—		356,976	
(7) その他	25,451		28,732	
貸倒引当金	△34,759		△36,372	
投資その他の資産合計	467,994	8.5	1,854,171	28.4
固定資産合計	947,598	17.2	2,409,094	36.9
資産合計	5,502,951	100.0	6,535,573	100.0

科目	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)		(参考)前期末 (平成19年12月期末)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1.買掛金	327,277		423,068	
2.未払金	253,794		280,710	
3.未払法人税等	11,859		5,150	
4.前受金	1,101,693		441,042	
5.預り金	51,061		108,177	
6.1年以内リース資産減損勘定	34,088		—	
7.賞与引当金	238,324		66,757	
8.受注損失引当金	248,200		—	
9.1年以内リース解約損失引当金	96,370		—	
10.1年以内事業整理損失引当金	2,741		—	
11.瑕疵補修費用引当金	42,000		—	
12.その他	45,055		72,408	
流動負債合計	2,452,466	44.5	1,397,314	21.4
II 固定負債				
1.長期未払金	249,694		19,788	
2.リース資産減損勘定	82,380		—	
3.繰延税金負債	5,418		—	
4.退職給付引当金	—		836,386	
5.リース解約損失引当金	792,741		410,700	
6.事業整理損失引当金	6,625		—	
7.その他	27,450		—	
固定負債合計	1,164,309	21.2	1,266,874	19.4
負債合計	3,616,776	65.7	2,664,189	40.8
(純資産の部)				
I 株主資本				
1.資本金	1,302,591	23.7	1,302,591	19.9
2.資本剰余金	1,883,737	34.3	1,883,737	28.8
3.利益剰余金	△1,304,625	△23.7	667,841	10.2
4.自己株式	△3,456	△0.1	△3,173	△0.0
株主資本合計	1,878,247	34.2	3,850,997	58.9
II 評価・換算差額等				
1.その他有価証券評価差額金	7,928	0.1	20,386	0.3
評価・換算差額等合計	7,928	0.1	20,386	0.3
純資産合計	1,886,175	34.3	3,871,384	59.2
負債純資産合計	5,502,951	100.0	6,535,573	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)		(参考) 前期 (平成19年12月期)	
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	6,542,412	100.0	6,718,426	100.0
II 売上原価	5,597,754	85.6	5,367,249	79.9
売上総利益	944,658	14.4	1,351,176	20.1
III 販売費及び一般管理費	2,056,768	31.4	1,145,388	17.0
営業利益又は営業損失 (△)	△1,112,110	△17.0	205,788	3.1
IV 営業外収益	15,009	0.2	17,743	0.2
V 営業外費用	1,794	0.0	1,125	0.0
経常利益又は経常損失 (△)	△1,098,895	△16.8	222,406	3.3
VI 特別利益	467,496	7.1	20,494	0.3
VII 特別損失	870,297	13.3	417,421	6.2
税金等調整前四半期 (当期) 純損失 (△)	△1,501,697	△23.0	△174,520	△2.6
税金費用	379,624	5.8	186,870	2.8
四半期 (当期) 純損失 (△)	△1,881,321	△28.8	△361,391	△5.4

(注) 平成19年12月期は、決算期変更により平成19年4月1日から平成19年12月31日までの9ヶ月となっております。

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年12月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期 (当期) 純損失(△)	△1,501,697	△174,520
減価償却費	76,927	61,028
無形固定資産償却額	34,530	32,633
賞与引当金の増加額(△減少額)	171,567	△213,115
受注損失引当金の増加額	248,200	—
瑕疵補修費用引当金の増加額	42,000	—
役員賞与引当金の減少額	—	△2,700
本社移転引当金の減少額	—	△99,246
退職給付引当金の減少額	△836,386	△60,227
リース解約損失引当金の増加額	478,411	410,700
事業整理損失引当金の増加額	9,366	—
貸倒引当金の増加額(△減少額)	629,450	△8,364
受取利息及び受取配当金	△8,526	△11,919
固定資産除却損	10,278	4,969
固定資産売却損	1,000	400
減損損失	255,912	—
売上債権の減少額	88,663	785,387
未収入金の増加額	△155,481	△387,632
たな卸資産の増加額	△45,009	△10,186
前渡金の増加額	△109,986	△48
仕入債務の減少額	△95,790	△335,668
未払金の増加額(△減少額)	△26,760	2,146
前受金の増加額	660,650	52,055
預り金の増加額(△減少額)	△57,115	41,918
預り保証金の減少額	—	△140,265
長期未払金の増加額	229,905	37,486
未払消費税等の増加額(△減少額)	11,654	△9,389
その他	△66,567	△21,615
小計	45,197	△46,172
利息及び配当金の受取額	8,368	8,634
法人税等の支払額	△11,826	△31,422
法人税等の還付額	19,510	110,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,249	41,419

	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	(参考)前期 (平成19年12月期)
区分	金額(千円)	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付による支出	△100	△500,000
投資有価証券の取得による支出	△5,025	△4,691
有形固定資産の取得による支出	△97,588	△155,228
有形固定資産の売却による収入	—	100
無形固定資産の取得による支出	△90,437	△128,590
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△2,821	△71,591
敷金及び保証金の返還による収入	2,027	121,512
賃貸不動産の売却による収入	9,710	—
その他	3,281	△1,208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180,953	△739,697
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△282	△664
配当金の支払額	△91,301	△115,603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,583	△116,267
IV 現金及び現金同等物の減少額	△211,288	△814,545
V 現金及び現金同等物の期首残高	771,269	1,585,814
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 ※	559,981	771,269

(注) 平成19年12月期は、決算期変更により平成19年4月1日から平成19年12月31日までの9ヶ月となっております。

当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	前期 (平成19年12月期)
※ 現金及び現金同等物の当四半期末残高と当四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成19年12月31日現在)
現金及び預金勘定 1,559,981千円	現金及び預金勘定 771,269千円
投資その他の資産に計上されている「長期性預金」 —千円	投資その他の資産に計上されている「長期性預金」 1,000,000千円
計 1,559,981千円	計 1,771,269千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △1,000,000千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △1,000,000千円
現金及び現金同等物 559,981千円	現金及び現金同等物 771,269千円